

神戸学院大学法学部主催 第15回文化相互理解シンポジウム

国際的難民保護と日本における難民支援

開催日時：2018年1月11日(木)9:30～

開催場所：神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス
B217講義室 (B号館2階)

紛争、迫害などのため移動し、国際的な庇護を求めている難民の数は2013年以降急増し、その数は第二次世界大戦以後、最大の数になっています。国際社会では難民の保護をどのように行か、様々な問題に直面しています。日本でも年々庇護をもとめる人々の数は増加しています。今回の講演では、日本で難民支援や啓発活動に関わるとともに、アフガニスタンやミャンマーなどで難民調査を行っている中尾秀一氏をお招きし、これまでの取り組みや今後の課題についてお話していただきます。どなたでもご参加いただける内容ですので、皆様ふるってお越し下さい。

講師：中尾秀一氏：アジア福祉財団難民事業本部・関西支部・支部長代行

対象：本学学生、教職員、一般公開

地域住民の皆さんの聴講も歓迎いたします (事前申込不要・参加費無料)



(国際的な保護を求めて移動するシリア人庇護希望者)

<講師プロフィール>

(公財) アジア福祉教育財団難民事業本部関西支部・支部長代行。1989年関西学院大学社会学部を卒業後、(公財) 神戸YMCAを経て1996年難民事業本部に入職。難民定住支援、啓発事業、海外難民調査(アフガニスタン、ミャンマー、タイ、ケニア、タンザニア等)を担当。神戸大学大学院国際協力研究科後期博士課程単位取得退学。大阪樟蔭女子大学、関西国際大学、同志社女子大学、東大阪大学非常勤講師。共著に『人道支援と平和構築』(早稲田大学出版、2005年)、『多文化共生論』(ひつじ書房、2011年)、『難民・強制移動研究のフロンティア』(現代人文社、2014年)。

主催：神戸学院大学法学部 (担当：杉木明子教授)

問い合わせ先：神戸学院大学 法学部長室 (078-974-4543)